

7割以上の学生が卒業時、大学に「満足している」と回答 総合満足度と最も相関が高い項目は 「教育方針や校風に魅力がある」

—「卒業時満足度調査2015」より—

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、大学生の卒業時満足度に関する調査を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。 ■参考資料：<http://prtimes.jp/a/?f=d10032-20150623-6592.pdf>

1. 満足度とその要因（満足できたか）…参考資料 P3～P4

■ 大学に在籍したことに「満足している」は76.5%。

▽「満足している」

- ・女子＞男子（10.5ポイント差）、理系≒文系（1.6ポイント差）、入学時第1志望＞第2志望以下（14.0ポイント差）。
- ・文系女子（83.2%）＞理系女子（81.9%）＞理系男子（75.4%）＞文系男子（69.6%）の順。

■ 満足度に対する相関係数が高い具体的項目のトップ3。

- 1位 教育方針や校風に魅力がある（0.49）
- 2位 たくさんの先輩・後輩・友人と出会える（0.48）
- 3位 幅広い知識・教養が身につけられる授業が多い（0.46）

2. 入学前の期待と卒業時の評価（期待はかなったか）…参考資料 P5～P10

■ 入学前の期待（学びたい意欲）は73.9%。うち理系女子は84.0%と全体を10ポイント上回る。

■ 入学前の期待順位、卒業時の評価順位、いずれも高い項目は「専門的な知識が身につく授業が多い」「幅広い知識・教養が身につく授業が多い」。

- ▽期待順位＜評価順位（期待以上）だった項目；「各授業の人数が適切である」「有名・社会的評価の高い先生がいる」
- ▽期待順位＞評価順位（期待外れ）だった項目；「国際感覚が身につく授業が多い」「語学力が向上する授業・制度が充実している」

3. 卒業後の学び継続意向（意欲は持続しているか）…参考資料 P11～P12

■ 卒業後も「学びたいと思う」は77.7%。女子の学び継続意向は8割以上。4人に3人は社会人になっても「学び続けたい」。

■ 学ぶ際の方法は、「関連する書籍を読んで勉強する」が56.5%で圧倒的1位。2位「通信教育」（25.1%）3位「テレビやラジオ、インターネットの講座」（20.7%）。

- ▽女子では「関連する書籍を読んで勉強する」「通信教育で学ぶ」「テレビやラジオ、インターネットの講座で学ぶ」、男子では「大学院に通う」が高い。

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「卒業時満足度調査2015」リクルート進学総研調べ”と明記ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【リクルートマーケティングパートナーズに関するお問い合わせ先】
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>